

平成26年11月17日
東奥信用金庫

「認知症サポーター養成講座」の受講について

東奥信用金庫では、認知症を正しく理解し、窓口サービスの向上および地域貢献を図ること等を目的として、役職員が「認知症サポーター」を取得しています。

今年度も新入職員等25名が「認知症サポーター養成講座」を受講し、合計266名の「認知症サポーター」を本部、営業店に配置しています。

今後も認知症とそのご家族を見守る活動に地域とともに取り組んでまいります。



認知症サポーターとは、認知症を正しく理解し、認知症の方やそのご家族を温かく見守る応援者のことです。